

## 紙プロジェクト

金融業が与えている最大の直接的環境負荷と考えられる紙の使用量を調査し、グループ全体の紙の使用を考える「紙プロジェクト」を発足させました。

### 紙の使用を考える 「紙プロジェクト」

大和証券グループは金融業を営んでいるため、電力・ガス・上水などの使用量は他業種に比べ少ない傾向にあります。しかしながら、環境負荷がないわけではありません。何が最大の環境負荷なのかを考えると、「紙」がクローズアップされてきました。

近年、コピー機やプリンターの普及に伴い、オフィスでの紙の使用量も比例して増加傾向にあります。また、当社グループでは、本報告書を含む各種報告書をはじめ、目論見書\*1、帳票類など非常に多くの紙を使用しています。

多くの社員が日々の業務において感覚的に、非常に多くの紙を使用しているという認識はありましたが、グループ全体で実際にどの程度の紙を使用しているのかという点については、完全には把握できていないのが現状です。

当社グループの環境負荷削減に向けた取り組みとしてもっともふさわしいものが紙の使用

\*1 有価証券の募集または売り出しの際に、投資家に交付する有価証券の内容や募集または売り出しの条件を記載した書類。

であると考え、2005年3月、グループ全体の紙の使用を調査する「紙プロジェクト」を発足させました。

### グループ本社の紙使用量を調査

「紙プロジェクト」の第一弾として、グループ本社CSR室では、2004年4月1日～2005年3月末までの1年間に、大和証券グループ本社単体で使用した紙の使用量に関する調査を実施し、まずは現状の把握に努めました。調査は、グループ本社で使用するコピー用紙、名刺、封筒、およびグループ本社各部署でそれぞれ外部へ印刷を依頼し発行している刊行物を対象としています。

調査の結果、2004年度にグループ本社で使用した紙の量は103トンとなり、グループ本社社員ひとりあたり401kgを使用していることがわかりました（次ページの表「大和証券グループ本社における紙の使用量」参照）。これは紙を1トンつくるのに、直径14cm、長さ8mの木材が約20本必要だと仮定した場合、約2,060本の木材に相当します。

### 現段階での取り組み状況

具体的な数字が出てきたことで、自分たちの環境負荷が決して小さいものではないことが認識できるようになりました。

大和証券グループ本社では以前より、適切に管理された森林から切り出された木材を原料とするFSC認証紙を『持続可能性報告書』に使用してきたほか、各種刊行物には再生紙を使用するなどの取組みを行ってきました。

紙資源保護をさらに推進する観点から2005年6月より、環境5団体（グリーンピース・ジャパン、FoE Japan、WWFジャパン、地球・人間環境フォーラム、熱帯林行動ネットワーク〈JATAN〉）が主催する「森林生態系に配慮した紙製品の調達に関する検討会」に参加し、生態系に配慮した紙の使用・調達について他参加企業とともに検討を重ね始めました。また、発展途上国における森林保護と同様に国内の森林保護にも目を向け、日本の山林の健全な成長を願って、今回の報告書には間伐材（含有率10%）を用いています。



グループ本社で使用している紙

### 紙プロジェクト—今後の課題

今回、グループ本社における紙の使用量を把握しましたが、今後の紙の使用を考えるにあたり、まずはグループ全体の紙の使用量の把握に取り組みます。特に証券業を全国展開している大和証券での使用量は、グループ本社の使用量を大幅に上回ることが予想されます。

また、グループ本社では、2005年度1年間で使用する紙について、前年度比5%の削減目標を設けます。さらに使用する紙における古紙含有率の見直し、紙の原料などの見直しも行なっていきたいと考えています。



間伐材ロゴマーク

## ■大和証券グループ本社における紙の使用量(2004年度)

部署	名称	(印刷)部数	重量(kg)／冊・部	総重量(kg)
グループ本社全体 ※集中購買分のみ カウント	名刺	44,800	0.001	45
	コピー用紙A4	1,490	10.2	15,198
	コピー用紙A3	37	12.24	453
	コピー用紙B4	71	15.6	1,108
	コピー用紙B5	19	7.8	148
	角2証券袋	5,000	0.013	65
	角3証券袋	1,000	0.01	10
	長3アドヘア	11,000	0.005	55
	角1マチ付封筒	200	0.035	7
	角2マチ付封筒	1,000	0.028	28
	角1OCS用封筒	1,000	0.0135	14
	角2貴重品封筒	1,000	0.013	13
	千樹会用封筒	9,000	0.013	117
	法務部	招集通知	95,000	0.054
決議通知		113,000	0.005	565
衛星同時中継案内		94,000	0.003	282
議決権行使書		93,100	0.003	279
人事部	総合職入社案内	20,000	0.33	6,600
	エリア総合職入社案内	10,000	0.134	1,340
	持続可能性報告書の読み方	85,000	0.046	3,910
	他採用コミュニケーション	—	—	1,717
広報部	『不二』2004春季号	14,700	0.156	2,293
	『不二』2004夏季号	23,700	0.172	4,076
	『不二』2004秋季号	14,495	0.162	2,348
	『不二』2005新年号	23,500	0.166	3,901
IR室	『アニュアル・レポート2004(日)』	22,000	0.468	10,296
	『アニュアル・レポート2004(英)』	6,000	0.477	2,862
	大和証券グループ平成15年度事業報告書	114,000	0.07	7,980
	2004年度(第68期)中間事業報告書	111,000	0.039	4,329
	2003年度の業績と今後の成長ビジョンについて	95,000	0.042	3,990
財務部	有価証券報告書	250	0.344	86
	半期報告書	120	0.192	23
CSR室	『持続可能性報告書2004(日)』	111,000	0.206	22,866
	『持続可能性報告書2004(英)』	2,000	0.192	384
	正誤表	92,000	0.00125	115
	『SCPニュース』	1,500	0.244	366
	『Financial Fitness for Life』日本語試作版	600	0.214	128
計				103,128